

数学演習第二 (演習第2回)

線形：直線・平面の方程式と外積

2015 年 10 月 14 日 実施

1

【内積, 外積】

- 空間のベクトル $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{bmatrix}$ と $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{bmatrix}$ の外積 $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ は $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \begin{bmatrix} a_2 b_3 - a_3 b_2 \\ a_3 b_1 - a_1 b_3 \\ a_1 b_2 - a_2 b_1 \end{bmatrix}$ で定義される.

(1) $\mathbf{u} = \begin{bmatrix} 2 \\ -1 \\ 2 \end{bmatrix}, \mathbf{v} = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 4 \end{bmatrix}, \mathbf{w} = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{bmatrix}$ に対して, $\mathbf{u} \times \mathbf{v}, \mathbf{v} \times \mathbf{u}, (\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \times \mathbf{w}, \mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w})$ を計算せよ.

(2) 上の \mathbf{u}, \mathbf{v} に対して, $\mathbf{u} \cdot \mathbf{v}, \|\mathbf{u}\|, \|\mathbf{v}\|$ を計算し, \mathbf{u}, \mathbf{v} のなす角を求めよ.

(3) 3 次正方行列 $P = [p_{ij}]$ に対して, $P\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = \mathbf{a} \cdot P\mathbf{b}$ が成り立つことを示せ.

(4)* 空間ベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を 3 列に並べてできる行列式を $\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{c}]$ と表すとき, これを第 3 列に関して余因子展開して $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c} = \det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{c}]$ が成り立つことを示せ. (この関係式を外積の定義と考えてもよい.)

(5)* 3 次正方行列 P が直交行列 (${}^t P P = E$ なる行列) であるとき, 上の (3), (4) を用いて次を示せ.

① $P\mathbf{a} \cdot P\mathbf{b} = \mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ (従って $\|P\mathbf{a}\| = \|\mathbf{a}\|$). ② $P\mathbf{a} \times P\mathbf{b} = \pm P(\mathbf{a} \times \mathbf{b})$ (\pm は $\det P$ の符号を表す).

2

【面積, 体積】

- 平面のベクトル \mathbf{a}, \mathbf{b} に対して,

$$\mathbf{a}, \mathbf{b} \text{ の張る平行四辺形の面積 } S = |\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b}]|.$$

- 空間のベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ に対して,

$$\mathbf{a}, \mathbf{b} \text{ の張る平行四辺形の面積 } S = \|\mathbf{a} \times \mathbf{b}\| \quad (= \sqrt{\|\mathbf{a}\|^2 \|\mathbf{b}\|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2}),$$

$$\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c} \text{ の張る平行六面体の体積 } V = |\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{c}]| \quad (= |(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c}| = |\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})|).$$

(1) $P(1, -2), Q(-1, 2), R(2, 3)$ のとき, $\triangle PQR$ の面積を求めよ.

(2) $P(-1, 2, 1), Q(1, 0, -5), R(-3, 1, 2), S(2, 2, -1)$ のとき, $\triangle PQR$ の面積, および四面体 (三角錐) $PQRS$ の体積を求めよ.

3

【空間内の直線と平面】

- 点 $\mathbf{x}_0 = {}^t(x_0, y_0, z_0)$ を通り, $\mathbf{a} = {}^t(a, b, c)$ を方向ベクトルとする直線の方程式は

$$\mathbf{x} = \mathbf{x}_0 + t\mathbf{a} \quad \Leftrightarrow \quad \begin{cases} x = x_0 + at \\ y = y_0 + bt \\ z = z_0 + ct \end{cases} \quad \text{あるいは} \quad \boxed{\frac{x - x_0}{a} = \frac{y - y_0}{b} = \frac{z - z_0}{c}}.$$

(媒介変数表示)

(右の表現は $abc \neq 0$ のとき破綻するが, 例えば $a = 0, bc \neq 0$ なら, $x = x_0, \frac{y - y_0}{b} = \frac{z - z_0}{c}$ と解釈する.)

- 点 $\mathbf{x}_0 = {}^t(x_0, y_0, z_0)$ を通り, \mathbf{b}, \mathbf{c} で張られる平面の方程式は $\mathbf{x} = \mathbf{x}_0 + s\mathbf{b} + t\mathbf{c}$ (媒介変数表示).

この平面は $\mathbf{p} := \mathbf{b} \times \mathbf{c} = {}^t(a, b, c)$ を法線ベクトルとするので, その方程式は

$$\mathbf{p} \cdot (\mathbf{x} - \mathbf{x}_0) = 0 \quad \text{あるいは} \quad \boxed{a(x - x_0) + b(y - y_0) + c(z - z_0) = 0}.$$

(右の表現は通常 $ax + by + cz + d = 0$ または $ax + by + cz = e$ の形に整理する.)

(1)* 平面 $ax + by + cz + d = 0$ 上に定点 $\mathbf{x}_0 = {}^t(x_0, y_0, z_0)$ をとる. ① この平面上の任意の点 $\mathbf{x} = {}^t(x, y, z)$ に対して, $\mathbf{a} = {}^t(a, b, c)$ と $\mathbf{x} - \mathbf{x}_0$ が直交すること (内積 0) を示せ. ② $ax + by + cz + d > 0$ の範囲にある任意の点 $\mathbf{x} = {}^t(x, y, z)$ に対して, \mathbf{a} と $\mathbf{x} - \mathbf{x}_0$ は鋭角をなす (従って \mathbf{a} は $ax + by + cz + d > 0$ の側を指している) ことを示せ. ③ 空間内に点 $\mathbf{x}_1 = {}^t(x_1, y_1, z_1)$ をとり, \mathbf{a} の方向の単位ベクトル \mathbf{n} と $\mathbf{x}_1 - \mathbf{x}_0$ との内積の意味を考えて, 点 \mathbf{x}_1 と平面の距離 (垂線の長さ) が $\frac{|ax_1 + by_1 + cz_1 + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$ であることを示せ.

(2) 3 点 $P(1, 1, 0), Q(3, -1, 1), R(2, -2, 3)$ を通る平面の方程式を求めよ. (まず平面の法線ベクトル $\overrightarrow{PQ} \times \overrightarrow{PR}$ を求めよ.) また, 点 $S(-1, 3, 4)$ からこの平面までの距離を求めよ.

(3) 2 平面 $x + y - 3z = 1, 2x + y + z = -1$ の交線の方程式を求めよ. また, 2 平面のなす角を求めよ. (交線方向ベクトルは 2 平面の法線ベクトルと直交することに注意. また, 交線が通る点としては例えば xy 平面との交点を考えるとよい. あるいは, 交線上の点を連立 1 次方程式の解の集合と考えてもよい.)

(4) 直線 $\frac{x-1}{5} = \frac{y+1}{3} = \frac{z-5}{-4}$ と平面 $5x - 4y - 3z = 19$ との交点を求めよ. 更に, この直線と平面とのなす角を求めよ. (この直線と平面に対する法線とのなす角に注目せよ.)

(5) 2 直線 $x = \frac{y+1}{-2} = \frac{z-1}{3}, \frac{x}{2} = \frac{y-1}{-3} = \frac{z-3}{4}$ の両方と直交する直線の方程式を求めよ.